

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理作業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第4表 2004年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	鶴ヶ岡外遺跡第2地点	鶴ヶ岡5-196,197の一部	5,000	老人介護施設	2004.12.20~2005.2.2	2005.3.14~	試掘後、調査会で本調査
2	鶴ヶ岡遺跡第3地点	鶴ヶ岡3丁目	2,059	個人住宅	2005.1.7		試掘調査
3	江川東遺跡第8地点	東久保1丁目150他	6,137	共同住宅	2004.3.25~4.8		試掘調査
4	江川東遺跡第9地点	東久保1-6-19	464	保育園	2004.4.9~4.19	2004.5.10~5.25	試掘調査
5	東久保遺跡第58地点	ふじみ野2-27-2	558	分譲住宅	2004.4.13~4.14		試掘調査
6	東久保遺跡第59地点	ふじみ野2-25-7、8、9	1,804	店舗	2004.6.29	2004.7.14~7.23	試掘後、調査会で本調査
7	東久保遺跡第60地点	ふじみ野2-26-16	337	個人住宅	2004.7.22~7.24		試掘調査
8	東久保遺跡第62地点	ふじみ野2-25-16	220	個人住宅	2004.10.12~10.15		試掘調査
9	亀久保堀跡遺跡第30地点	ふじみ野2-25-1	659	店舗	2005.1.11~1.12	2005.1.31~2.7	試掘後、調査会で本調査
10	東久保南遺跡第33地点	ふじみ野4-9-2	354	店舗	2004.7.8~7.9		試掘調査
11	東久保南遺跡第34地点	ふじみ野4-9-2	555	店舗付共同住宅	2004.7.8~7.12		試掘調査
12	東久保南遺跡第35地点	ふじみ野1-5-8	194	個人住宅	2005.1.17		試掘調査
13	東久保南遺跡第36地点	ふじみ野4-8-7	1,005	事務所	2005.1.21~1.27	2005.2.7~2.15	試掘後、調査会で本調査
14	東久保南遺跡第37地点	ふじみ野4-10-1	695	駐車場	2005.2.10~2.14		試掘調査
15	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-4	222	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
16	西ノ原遺跡第127地点	旭1-13-19	105	個人住宅	2004.5.24~5.25		試掘調査
17	西ノ原遺跡第128地点	旭1-16-9、10	614	店舗	2004.6.14~7.15	2004.7.16~9.29	試掘調査
18	西ノ原遺跡第129地点	旭1-11-5	235	共同住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
19	西ノ原遺跡第130地点	旭1-5-8	116	個人住宅	2004.10.14~10.15		試掘調査
20	西ノ原遺跡第131地点	旭1-5-13	97	店舗付個人住宅	2004.10.22		試掘調査
21	中沢前遺跡第25地点	苗間1-10-8	809	共同住宅	2004.6.4~6.10		試掘調査
22	神明後遺跡第23地点	苗間253	62	個人住宅	2004.4.9		試掘調査
23	神明後遺跡第24地点	苗間神明後293-4,10	148	個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
24	神明後遺跡第25地点	苗間295-1	660	店舗付個人住宅	2004.9.30~10.7		試掘調査
25	浄禅寺遺跡第24地点	苗間字神明後346-1、2の一部	391	個人住宅	2004.8.30~8.31		試掘調査
26	浄禅寺遺跡第25地点	苗間339-1,2	721	共同住宅	2004.9.22~10.12		試掘調査
27	浄禅寺遺跡第26地点	苗間字神明後354の2の一部	216	分譲住宅	2005.3.3~3.8		試掘調査
28	苗間東久保遺跡第23地点	苗間字東久保640-9	104	個人住宅	2004.9.1		試掘調査
29	小田久保遺跡第6地点	大井小田久保1207-5	306	個人住宅		2004.10.26~11.13	教育委員会で本調査
30	大井宿遺跡第8地点	大井1-6-7	282	個人住宅	2004.4.20		試掘調査
31	大井宿遺跡第10地点	大井1-3-16	341	分譲住宅	2004.9.21~10.6		試掘調査
32	大井宿遺跡第11地点	大井1丁目5番5,11	970	共同住宅	2004.12.10~12.20	2005.1.6~1.29	試掘後、調査会で本調査
33	本村遺跡第112地点	市沢1-17-16	289	共同住宅	2004.7.27		試掘調査
34	大井戸上遺跡第4地点	大井字東台689-3	128	個人住宅	2004.5.27		試掘調査
35	西台遺跡第5地点	大井字西台911-51	139	個人住宅	2004.6.17		試掘調査
36	東台遺跡第41地点	大井字東台648-4	182	個人住宅	2004.5.11~5.14		試掘調査
37	東台遺跡第42地点	大井640-4	515	教会増築	2004.9.7~9.17		試掘調査
38	東台遺跡第43地点	大井東台661-6	964	駐車場	2005.1.13		試掘調査
面積合計			28,657				

II 鶴ヶ岡外遺跡の調査

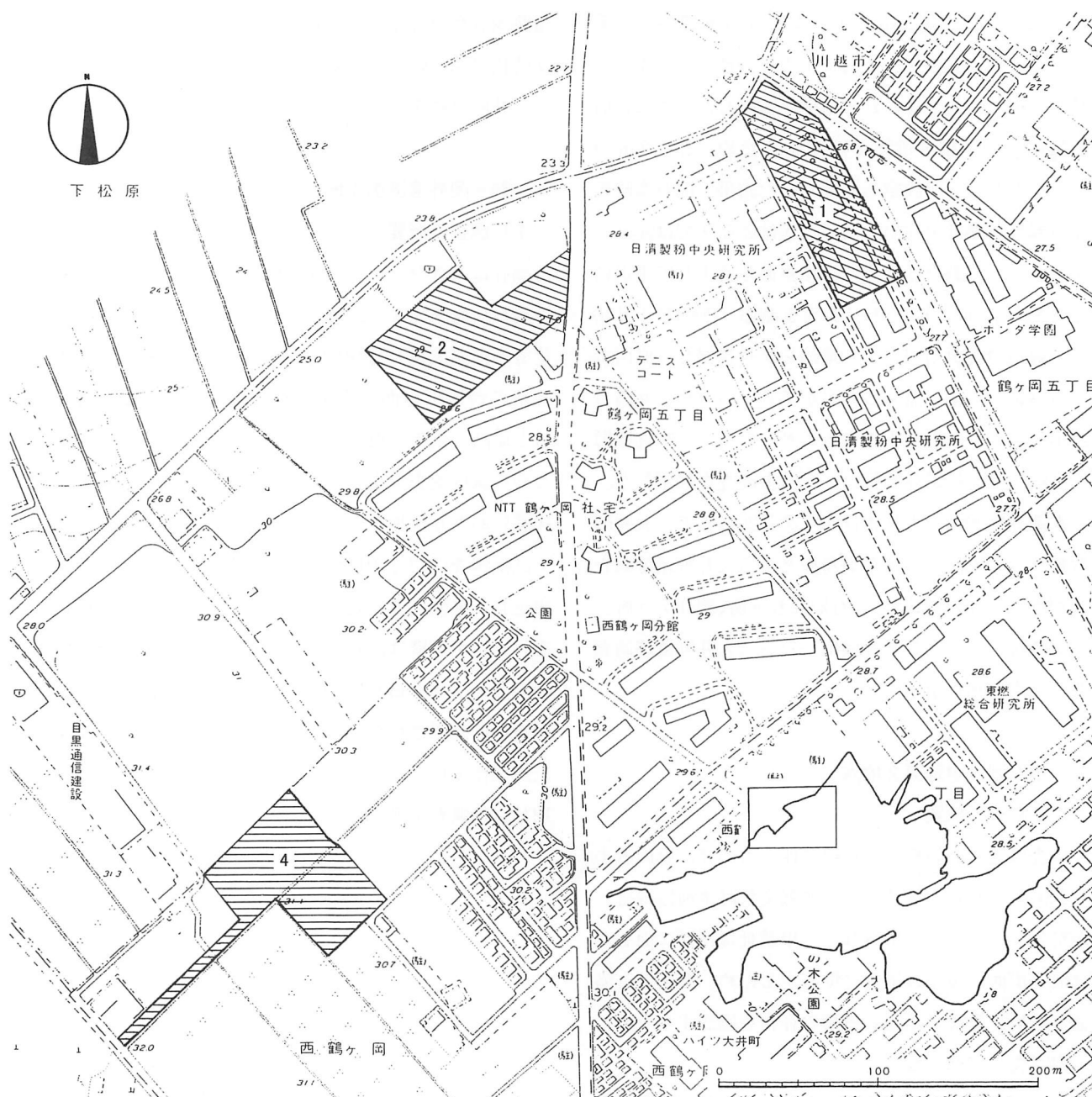
1 遺跡の立地と環境

鶴ヶ岡外遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ藤間江川に面した標高27～30mの台地北縁、低地との比高差4mあまりの緩斜面上に立地する南北100m、東西3.5km以上の細長い崖線上にまたがる遺跡である。

周辺の遺跡は、下流に隣接して鶴ヶ岡遺跡、川越市八幡神社遺跡、上福岡市西遺跡があり、八幡神社遺跡と西遺跡には縄文時代の集落が広がる。また、本遺跡の対岸でも石器が表採されている。

2003年11月、鶴ヶ岡遺跡に隣接する個所について事

業所の建設に伴う事前協議があり、同年12月2003年12月に試掘調査を行なったところ（第1地点）、旧石器時代の石器群と礫群を検出したため、2004年1月10日包蔵地の変更増補をして鶴ヶ岡外遺跡として新規登録した。また、2005年1月に第2地点を調査した際、崖線に沿って遺跡範囲確認の踏査を行なった結果、更に上流でも旧石器時代の石器を表面採取したため、同年9月に包蔵地の変更増補を行なった。主たる時代は旧石器時代～縄文時代早・前期である。



第3図 鶴ヶ岡外遺跡の地形と調査区（1/4,000）

2 鶴ヶ岡外遺跡第1地点

(1) 調査の概要

調査は事業所の建設に伴うもので、原因者より2003年11月12日付けで、「埋蔵文化財包蔵地開発行為事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)が町教育委員会に提出された。申請地は崖面に面した台地平坦面、鶴ヶ岡遺跡の西側に位置する。遺跡範囲外であったが、鶴ヶ岡遺跡の隣接地である点と崖線沿いという地形的条件から、遺構の存在する可能性があるため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2003年12月19日から翌2004年1月22日まで行なった。幅約2mのトレンチを5本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、縄文時代と思われる遺構を検出した。さらに旧石器時代の遺構・遺物を確認するため、2×2mのグリッドを14ヶ所設定し深掘りした結果、旧石器時代の石器群と礫群を検出した。遺構確認面までは20cmを測る。また、調査区北側では崖斜面を盛土して平坦にしており、地山まで50~120cmを測る。2004年1月10日包蔵地の変更増補により遺跡を新規登録し、原因者と再協議の結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は2004年1月19日から2月20日まで、大井町教育委員会生涯学習課を事務局とする大井町遺跡調査会が行ない、旧石器時代の石器群6ヶ所、礫群7ヶ所、縄文時代の落し穴3基を検出した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

3 鶴ヶ岡外遺跡第2地点

(1) 調査の概要

調査は老人介護施設の建設に伴うもので、原因者より2004年12月6日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は崖面に面した台地平坦面、遺跡の東側に位置するため、原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2004年12月20日から翌2005年2月2日まで行なった。幅約2mのトレンチを10本設定し、重

機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。調査区はほぼ全域に渡り天地返しをされたようにロームがボロボロの状態、数ヶ所で樹木を埋めたような攪乱があった。しかし、部分的に残った地山部分で石器を検出したので、さらに旧石器時代の遺構・遺物を確認するため、2×2mのグリッドを54ヶ所設定し、深掘りした結果、旧石器時代の石器群を検出した。原因者と再協議の結果、開発の変更ができないため、原因者負担による本調査を実施することになった。写真撮影・全測図等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は2005年3月14日から2月20日まで、大井町遺跡調査会が行ない、旧石器時代の石器群3ヶ所、縄文時代早期の炉穴群1ヶ所、落し穴1基を検出した。

(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

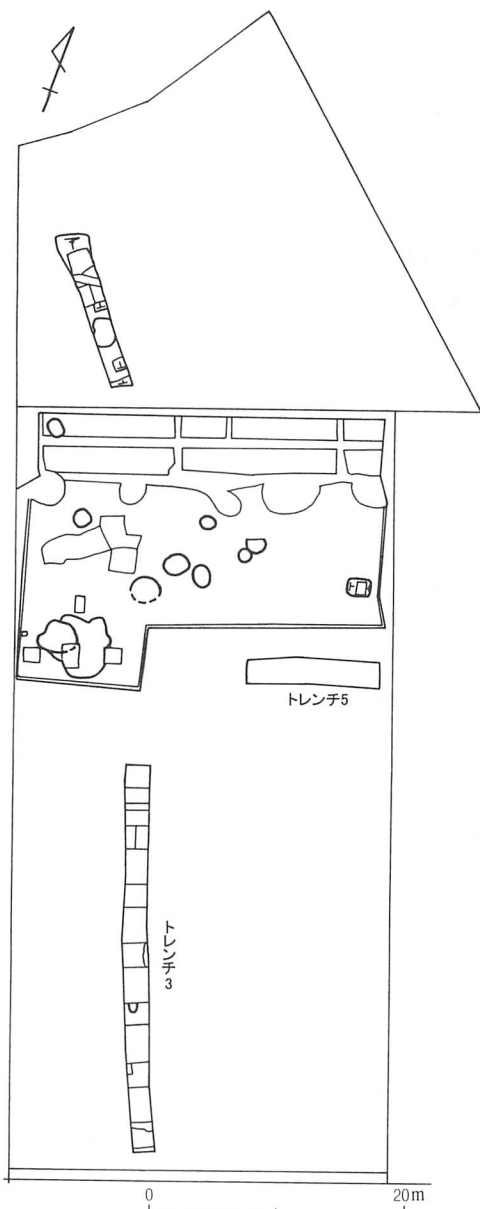
4 鶴ヶ岡外遺跡第4地点

(1) 調査の概要

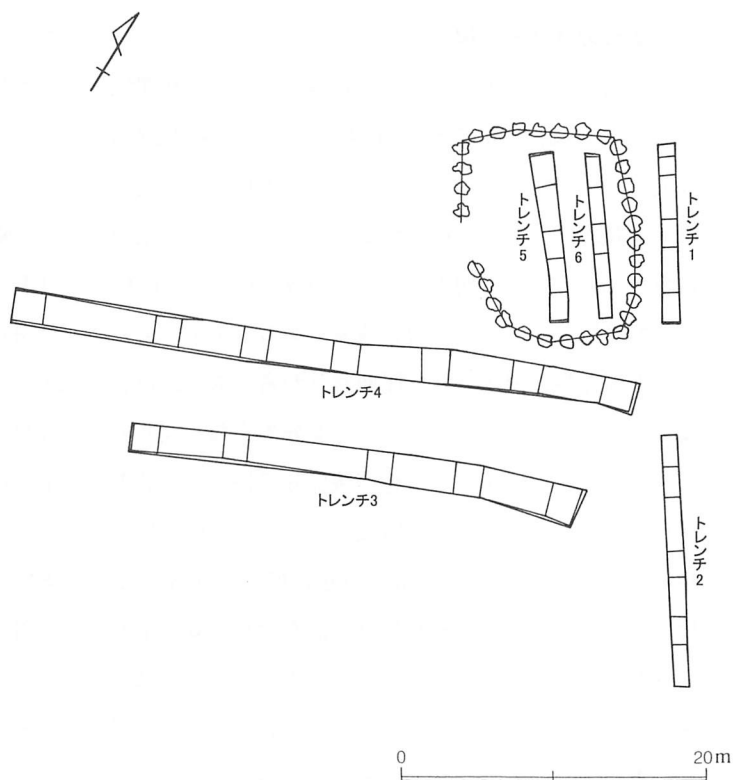
調査は給食センターの建設に伴うもので、大井町教育委員会総務課より2003年11月28日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は崖面から200m南の台地平坦面、遺跡の範囲外に位置する。原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。なお、地点番号は報告書掲載にあたり付加したため、第2地点と前後する。

試掘調査は12月10日から行なった。トレンチ6本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったが遺構は確認されなかった。また、旧石器調査のため2×2mのグリッドを24ヶ所設定し掘ったが遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ重機でトレンチを埋め戻し、12月24日調査を終了した。

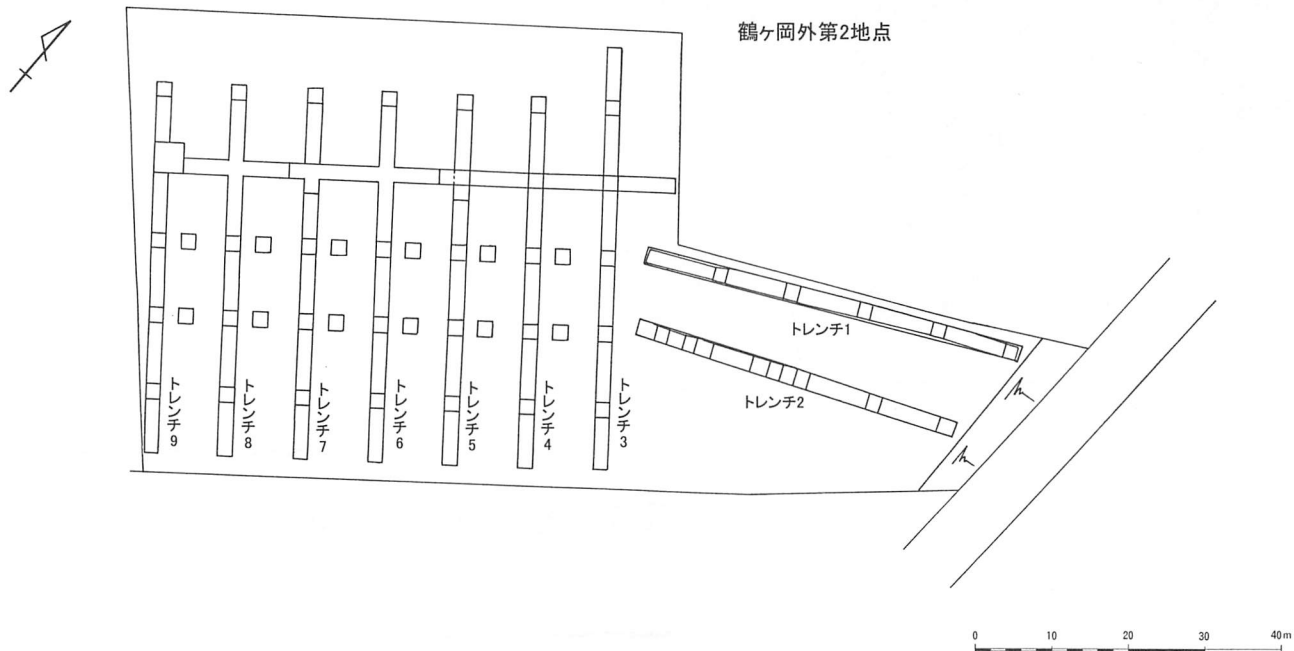
鶴ヶ岡外第1地点



鶴ヶ岡外第4地点



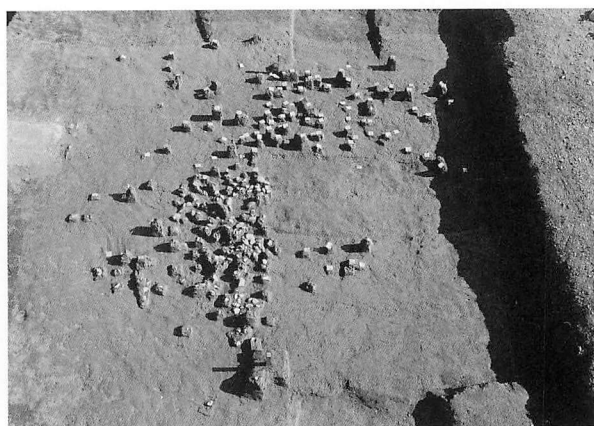
鶴ヶ岡外第2地点



第4図 鶴ヶ岡外遺跡第1・2・4地点遺構配置図 (1/600・1/500・1/1,000)



鶴ヶ岡外遺跡第1 地点試掘調査



鶴ヶ岡外遺跡第1 地点本調査



鶴ヶ岡外遺跡第2 地点試掘調査



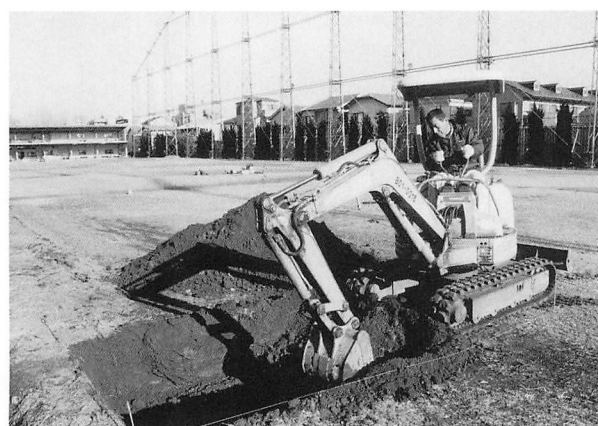
鶴ヶ岡外遺跡第2 地点本調査



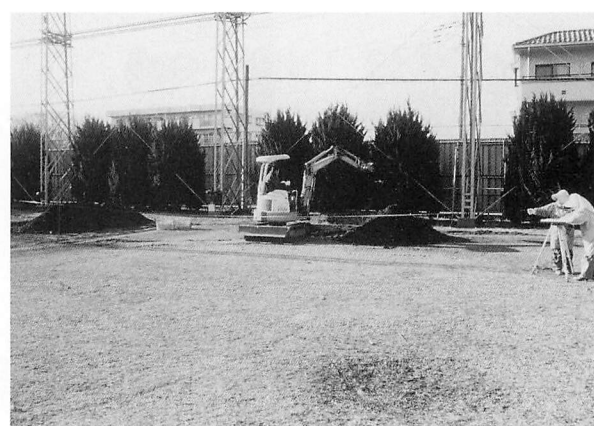
鶴ヶ岡外遺跡第4 地点試掘調査



鶴ヶ岡外遺跡第4 地点試掘調査



鶴ヶ岡遺跡第3 地点試掘調査



鶴ヶ岡遺跡第3 地点試掘調査